

報道関係者 各位

キッチン・厨房からホールまで。 スズモグループが開発を進める店舗のトータルソリューション 鈴茂器工の新製品「自動配席AIシステム ARESEA」

～2024年10月23日・24日開催のスズモフェア2024東京よりリリース開始～

鈴茂器工株式会社（本社：東京都中野区、代表取締役社長：鈴木美奈子、以下 鈴茂器工）は、この度開発した新製品「自動配席AIシステム ARESEA（アレシア）」を2024年10月23日（水）から開催の自社展示会スズモフェア2024東京より正式にリリースすることをお知らせいたします。

鈴茂器工では、これから先の“SUZUMO“が目指す姿を実現するために、専門部署を起ち上げ、開発機能強化に取り組んできました。自社のみならず、グループ企業、ロボティクス関係の事業者様、AIベンチャーの事業者様などとの共創・協業を進めていくことで、今後お客様に提供できる価値をより高めていけると考えております。今回の「自動配席AIシステム ARESEA（アレシア）」は、そのような取り組みの中から生まれた新製品となります。

これからの飲食店のニュースタンド

自動配席AIシステム

受付対応の自動化と、
店舗の状況に合わせた最適な配席を「AI」がご案内



受付から配席までを
自動化



スタッフ業務を
効率化



顧客満足度
向上



自動配席AIシステムARESEA（アレシア）特設サイト：<https://aresea.info/>

今後も、人手不足解消のみならず店舗全体の付加価値向上に寄与すべく、スズモグループとして、米飯加工機を扱う鈴茂器工と豊富なセルフオーダーシステムで業務効率化と売上アップを実現する日本システムプロジェクトや共創協業企業との取り組みで、店舗全体の省人省力化・コストダウンソリューションをスピード感を持って提案・開発してまいります。

本製品を通じて、『食の「おいしい」や「温かい」を世界の人々へ』というビジョンのもと、「消費者」や「事業者」の皆さまへ食を通じた新しい価値の創出を目指して取り組んでまいります。

報道関係者 各位

自動配席AIシステム ARESEA（アレシア）の開発に至った経緯

人手不足・人件費高騰・スタッフ定着率低下などの問題を抱える飲食業界において、取り入れやすいサービスをDX化し、スタッフには、人にしかできない作業に従事していただくことを目的に開発しました。

【受付/配席に関わる課題】

- ・スタッフの経験不足で非効率な配席を行ってテーブル単価が下がってしまう
- ・使用している受付システムのランニング費用が高額である
- ・ご来店いただいたのに人手不足で受付対応できずに、お客様に機会損失を発生させている可能性がある
- ・スタッフ間の情報共有がいきわたらず、配席時にお客様に不満を与えている
- ・ピーク時の回転率向上の手段を模索している
- ・インバウンド対応で「言語の壁」や「多言語対応スタッフの不足」などに苦労している など。

現在市場に有る自動配席システムは、大手飲食店の自社開発機や店内システム全体の中に組み込まれているものが主流です。

そのため、汎用性のある自動配席のシステムは市場に足りていないと考えられます。まずは、配席機能等はないおらず、受付機能のみの有料サービスを使用している企業様・手書きでの受付管理を行っている企業様への拡販を目指し、業務効率改善を提案していきます。

自動配席AIシステム ARESEA（アレシア）について

Auto reception seating arrangement systemの頭文字からネーミングいたしました。

AIによる店舗オペレーションの効率化を「受付：自動来客対応」「配席：AI自動配席」「滞在：AI退店予測」の観点から実現します。AIを組み込むことで、お客様の人数にあわせたテーブルへのご案内が可能となり、まるでベテランスタッフのように臨機応変な対応を実現します。日英中の多言語対応を標準搭載。オプション機能のWEB受付を組み合わせることでより効率的な運用が可能です。受付対応の自動化と、店舗の状況に合わせた最適な配席を「AI」がご案内することで、ARESEAは、これからの飲食店のニュースタンドを目指します。

【Before】

従来の配席システム

4名様をご案内するためには・・・



1組4名様でご来店



従来の配席



2名様テーブル

【ARESEA】

「ARESEA」自動配席AI

2名様テーブルを2つ繋げる!!



1組4名様でご来店



「ARESEA」配席AI



4名様テーブル

導入フロー



